

7-4-1 支部助成審査検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 支部助成審査検討WGの開催

平成28年6月2日にWGを開催し、各支部から出された助成申請を審査した。その後、北陸支部から追加申請があったが、これについてはメール審議とした。

(2) 活動の目的

本WGの目的は、支部助成金審査ガイドラインに沿って、各支部申請活動の目的を審査し、交付する助成金を整理し、中期行動計画特別委員会へ提案することである。申請に対する採択の判断規準は、「ガイドライン」に従い以下を基本とする。

- ① 協会の社会貢献活動にふさわしいもの
- ② 一般市民を対象とし、協会活動への理解が深められるもの(会員を主体としたものは、場合により一部除外も考慮)
- ③ 公共事業のあり方などを発注者に働きかける活動

(3) 平成28年度の活動

各支部から申請された活動予定案件に対してWGを開催して審査し、支部助成金の趣旨に沿わないものを非採択とした。また、いくつかの申請案件については助成金の趣旨に適合するように内容の一部変更を求めた。その結果、最終的に別表のように27件が採択された。助成金の総額は2,292万円で前年の2,090万円を200万円ほど上回った。また、当初予算を若干超過したが、それぞれの活動は協会の活動方針に即しており、有効なものであると判断した。

なお、北陸支部の「工学系大学等へのマガジンラック寄贈」は、大学に受け取っていただけのかわからなかったため、当初審査では助成対象とせず、実際に寄贈された場合に助成することにした。結果的には、8大学等に寄贈できたので、この実費を助成した。このように、6月時点で実施できるか否かが明確でない場合は、実績に基づき実費を助成するのも一案と考える。

2. 次年度の活動について

次年度も、予算は2,000万円を基本として「ガイドライン」に基づき募集・審査を行う予定である。本助成金は中期行動計画の支部での実践活動を助成するものであるが、各支部は工夫を凝らした多彩な活動を展開していると考えられる。

平成28年度 支部助成金支給実績

支 部	活 動	助成額 (万円)
北海道①	日本ハムファイターズ稲葉篤紀SCOと社会基盤を考えるミーティング	240
②	出前講座の継続実施	25
③	社会資本体験のための見学会の実施	20
④	大学・高専生への広報活動	15
東 北①	平成28年度講演会	115
②	高校生「橋梁模型」作品発表会	25
関 東①	「グローバル関東」の発行	168
②	就職イベント出展	127
③	「環境ビジネス」に関する講習会	5
北 陸①	美化・清掃活動及び見学会活動	30
②	建設コンサルタントのPR	150
③	出前講演(小学校・高校・大学)	82
④	防災フェスタへの参画	20
⑤	工学系大学等へのマガジンラック寄贈	10
中 部①	打ち水大作戦 in 名古屋への参画	25
②	建設コンサルタントフェアの開催	187
③	カルチャーセミナーの開催	14
④	河川技術セミナーの開催	25
⑤	「学生交流広場」への出展	49
近 畿①	近畿の社会資産共有活動	80
②	建設コンサルタントの役割広報活動	80
③	大手新聞社での広報活動	60
④	道路整備広報活動	50
中 国①	社会基盤整備についての講演会	120
②	防災教育支援及び防災活動への参画	120
四 国①	学校教育・生涯教育への支援活動	150
九 州①	地域の夢・アイデア発掘・活用事業	300
合 計	全27件	2,292

(支部助成審査検討WG WG長 兪 朝夫)